ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	No.B-3(G201)	調査位置				北　緯	36 ° 54 ' 55.0000 "
発注機関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2009-07-17 ～ 2009-07-22	東　経	139 ° 32 ' 24.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	98.19 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 40.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	6.10 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	97.54	0.65	0.65		礫混じり粘土 (CH-G)	褐灰			φ2～50mm程度の角礫・粗砂が混じる。		07/18 1.05
1	95.99	1.55	2.20		礫質土 (GF)	褐灰			φ40～50cm程度の玉石が主体。玉石間に粘土を挟む。		
2					風化凝灰岩 (Tf)	暗灰			φ5～50mm程度の捕獲礫が多く混じる。 礫は風化が進んでいないが、基質部はやや風化し、砂礫状～細目状あるいは短柱状～岩片状コアコアとなる。 5.7m付近から、砂岩質であり暗褐色を呈する。		07/21 4.06
3											
4											
5											07/22 6.10
6	92.09	3.90	6.10								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.00	50／5			50／5	>50
1.05					
2.00	30	20／9		50／19	>50
2.19					
3.00	50／4			50／4	>50
3.04					
4.00	50／6			50／6	>50
4.06					
5.00	50／2			50／2	>50
5.02					
6.05	50／5			50／5	>50
6.10					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						07/18
						07/21
						07/22